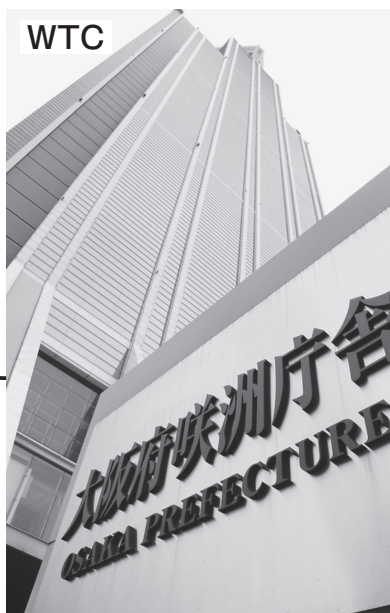


# 開発・誘致路線の破綻はつきり

## 経済効果なく無駄遣いのツケ市民に

破たんが明らかになりながら前市長から湾岸エリア開発を引き継ぎ、推進してきた平松邦夫・大阪市長。企業呼び込み型経済対策には効果がないことは明らかになっている。巨額のツケを市民に負わせる市政運営、無駄遣いを紹介する。



WTC 1104億円

### WTC 1104億円

1995年大阪市が関西財界と一緒に1193億円をかけて建設。入居率が悪く、赤字の穴埋めに大阪市の港湾・水道・建設局などが入居し家賃を負担したほか、借金返済のための200億円を貸付。計501億円を投じて支援したが、経営は行き詰まり、事実上破綻した。大阪市の残借金を肩代わりするとの「特定調停」が2004年に成立。09年3月末借金残高は491億円。2010年に大阪府に85億円で売却するが、売却収入を除いた残りを大阪市の負担した。大阪市民に1千億円もの損失を与えたビルを、橋下知事が買い取って庁舎を建設するとした。

### テクノポート線 1870億円

咲洲から夢洲、舞洲を経て大阪市此花北区北港まで約8キロメートルを結ぶ事業費1870億円の地下鉄計画。五輪誘致を見込んで着工するも、誘致失敗。その後も建設工事を進め、咲洲と夢洲を結ぶ自動車トンネルと平行して走る地下鉄の入るボックスだけ造った(390億円)が、鉄道建設は需要見込みなく中断している。

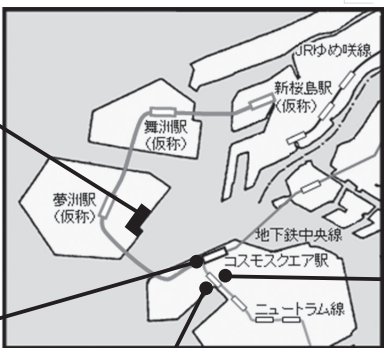
### 時空館、ふれあい港館 254億円

78億円をかけて造ったワインミュージアム「ふれあい港館」は人が入らず2008年閉鎖。ミュージアムには一本60万円の超高級ワイン「ロマネコンティ(1921年)」などを非公開で貯蔵していた。2000年に176億円をかけて建てた海に浮かぶ海洋博物館「時空館」もガラガラ。管理運営費は毎年2億円以上。



スーパー中枢港

838億円



時空館、ふれあい港館

254億円



ATC

2200億円

### ATC 2200億円

1994年アジア貿易の拠点として事業費1465億円で建設。開業当初の借金1099億円。貿易会社の入居が少なく、大阪市各局の事業フロアとして借り上げ、家賃負担した。経営貸付金187億円、補助金など606億円を投じて支援するも、経営破たん。03年にWTC同様の「特定調停」し、調停時の残借金は401億円。今後も大阪市の港湾・水道・建設局など旧WTCビルから引っ越しをさせて経営を支援する。それでも、退店が続けば2次破綻のおそれがある。

### スーパー中枢港 838億円

5万トンのコンテナ船に必用だとして夢洲に深さ15メートルの3つの埠頭を建設(770億円)。現在、一つの埠頭に台湾の船会社が週4便だけ入港。港湾局は咲洲のR岸壁とC6、C7の船を夢洲に集約したが、5万トンの船は週1便しか入っていない。大型船が支障なく入港しているのに、主航路の水深を14メートルから15メートルに浚渫(しゅんせつ)する工事(事業費58億円)に着手。

## おおさかウォッチング



美須町駅を経て通天閣をくぐり、日本橋電気街に向かった。日本橋では、何かのロボットの大きな看板が目飛び込んできた。電気街といってもほとんど電気屋がない。時代の変化を感じながら日本橋を後にした。ほとんどなくしてバスは、戎橋を過ぎ、約35分そんなばに戻った。大人100円・小人50円という低料金設定で、観光の足としても十分に活躍できそう。

今回のウォッチングは、大阪市のコミュニティバス(愛称「赤バス」)に乗り、車窓から市内風景を楽しんできた。乗車したのは浪速東ルートで、なんば駅(高島屋前)から乗車、利用者は11人で狭い車内は結構、満員感が漂っていた。なぜ車体をもっと少し大きくしないのかとの疑問を思ったが、すぐに解決された。

## 赤バス

## 気軽に利用できてええんや

恵比寿町駅を南下してバスが左折すると、通天閣に向かう道幅は急に狭まり、大型のバスではとても通れそうもない。生活道路も通れるように配慮されているようだ。また、バス停が300〜500メートルにきめ細かく配置され、高齢者への気遣いを伺わせた。

大阪市の巨額の借金は、1000億円以上もの赤字を生み出したWTC建設や財界要求の元に進めてきたベイエリア開発などの無駄な開発から生まれたものだ。黒字の地下鉄御堂筋線を民間に売却する話も出ている。矛盾していないだろうか。

今、赤バスは存続の危機にさらされている。車内では一昨年3月31日まで利用状況を調査し、路線の廃止・再編を検討するとのアナウンスが流れている。大阪市の借金はすでに5兆円を超え、市民サービスが続けられないという。

いずれにせよ赤バスは、26路線(ネットで赤バス路線図などで検索すれば出てくる)あり、路線の数だけ大阪を堪能できそう。

みなさんも一度、お近くの路線で、赤バスの車窓から大阪を楽しんではいかがだろうか。

他の利用者も「通っている病院の前には止まってくれるから助かってるわ」とほほ笑んだ。高齢

美須町駅を経て通天閣をくぐり、日本橋電気街に向かった。日本橋では、何かのロボットの大きな看板が目飛び込んできた。電気街といってもほとんど電気屋がない。時代の変化を感じながら日本橋を後にした。ほとんどなくしてバスは、戎橋を過ぎ、約35分そんなばに戻った。大人100円・小人50円という低料金設定で、観光の足としても十分に活躍できそう。